

すべての人々のための成長—2014 ブリズベン開発アップデート（概要）

平成26年11月16日

開発協力企画室

【ポイント】

- 豪州議長下でのG20の開発分野での進捗をまとめた資料。G20としての今後の対応を示した「レスポンス・ペーパー」等関連資料が添付。
- G20開発作業部会の5分野（インフラ、金融包摂・送金、食料安全保障・栄養、国内資金動員、人材開発）のそれぞれの進捗を示し、また、ポスト2015年開発アジェンダに関する考え方も提示。

1. インフラ

- (1) プロジェクト準備ファシリティ（PPF）の整備等を通じて、質の高いインフラの事業計画を策定し、民間投資を含む資金動員を強化する方針を確認。
- (2) 「レスポンス・ペーパー」において、PPPにより民間投資を活用したインフラ整備の文脈で、「（インフラの）持続可能性の確保に資するためには、（環境的要素に加えて）社会的要素も考慮されなければならない」旨を言及。

2. 金融包摂・送金

- (1) 新しい「G20金融包摂行動計画」を歓迎。同行動計画は女性への特別な配慮の必要性に言及。
- (2) 「送金フローを促進するためのG20計画」を採択し、送金コストを平均で5%まで下げるとの目標に改めてコミットした。また、コスト削減のために各国が今後取る行動に関するコミットメントのリストを作成。

3. 食料安全保障・栄養

- (1) 今後の取組の方向性を示す「G20食料安全保障・栄養フレームワーク」を採択。優先目標として、①フードシステムにおける責任ある投資、②収入・雇用、③生産性のそれぞれの向上を掲げた。女性への特別な配慮の必要性にも言及。
- (2) 「フレームワーク」において、上述の3つの優先目標に共通する課題として、グッド・ガバナンス及び「人間中心のアプローチ」の意義を明記。

4. 国内資金動員

「税源浸食及び利益移転（BEPS）」対策及び「自動的情報交換（AEOI）」を通じ、税収増加のための途上国への支援を加速化したことを確認。

5. 人材開発

雇用ギャップと技能をマッチさせるための取組を推進したことを確認。

6. ポスト2015年開発アジェンダ

G20として「包摂的で人間中心のポスト2015年開発アジェンダ」とその「効果的な実施」を支持する旨を明記。

（了）